

ワークショップ

DiSC(行動タイプ)

2023/09/29

株式会社ホープ

今期取り組み その1：社員の間人間関係が良い

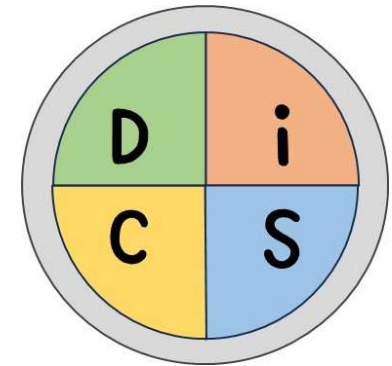
- 人間関係を良くしたい →逆に“人間関係が悪い状況”とは
彼は…「自分勝手に進めて協調性がない（勝手すぎ！）」、「安易に仕事を引き受けて緻密さが無い（いい加減！）」、「優柔不断で全然決めない（早く決めろ！）」、「理屈ばかり確認してやってくれない（細かいことばかり！）」など
→相手に“不信感”を持っていて、ギクシャクしている状況
- 人の“行動”を自分勝手に解釈している
人には、それぞれ行動する際の“傾向”があり、同じ問題を扱うにしても“取り組み方/捉え方”が異なる
ただ自分には、相手が「何を行うか？」「何を言うか？」という“行動”だけしかわからないので、行動について自分なりに解釈するしかない。このとき“自分勝手に仮説を立て”て判断し、誤解が発生しやすくなる。
例）この問題だったら、自分ならこうする（＝普通はこうする）が、そうしていない彼はダメだ
→悪い人間関係：行動パターンを理解せず、自分の判断を押し付けて、“あいつはダメだ”となってしまう

どうしたらいい？

- その人の人格を正確につかむことは、かなり難しい
 - 長く付き合っている友人でも、その人の行動のすべてを理解することはできない
 - ある程度理解するだけでも、かなり時間もかかる
- とりあえずの対応として、タイプ診断を利用してみる
 - 昔から、人の特徴を掴むためにタイプ分けをしようとする
 - ・血液型、星座、地域別、性別…
 - 大抵、外れる。
 - もう少し、科学的な根拠を持ったタイプ診断（DiSC診断）を実践してみる

DiSC理論について

- DiSC理論とは
 - 1920年代にアメリカのウィリアム・M・マーストン博士が提唱
 - 人の特性や行動パターンを4つのタイプに分類
 - 各タイプ別に適切なコミュニケーション方法を導きだす
 - DiSC説明ビデオ
 - <https://www.youtube.com/watch?v=eI5kYee9K0I&t=258s>
 - [Everything DiSC Workplace 紹介映像 – YouTube](#)
 - DiSC診断（簡易版）
 - <https://jp.vonvon.me/ja/quiz/301/>
 - <https://jp.vonvon.me/quiz/301>
- やってみましょう



皆さんの結果を共有しましょう

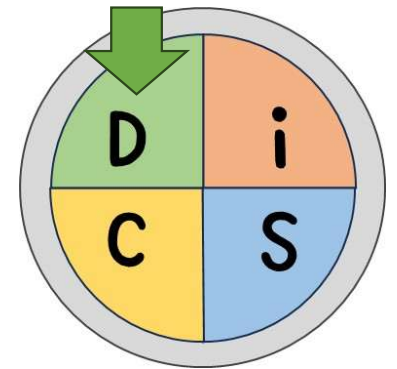
- 診断結果を共有

次に、DiSCそれぞれの行動特性を説明します

そのタイプだった人は、当てはまっているか？を確認してください

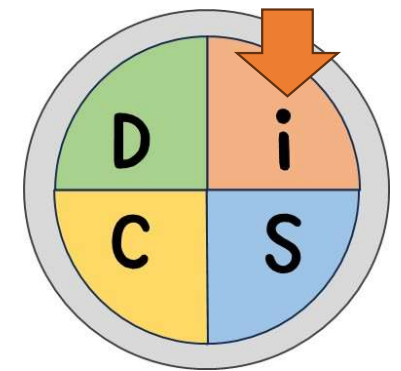
DiSCのタイプ説明

- D (Dominance) : 主導型の特徴
 - 主導型の人、快活な性格で思い切りがあり、主導権を握りたい傾向があります
 - リスクを負うことを嫌がらず、ライバルがいるほうが最大の力を発揮できる点が特徴的です
 - 一方、マニュアル通りのルールは好まず、協調を維持することにはあまり関心がない部分があります
- Dタイプの特徴や傾向
 - 強い意志を持ち、課題にチャレンジする行動力があるが、自己中心的に思われることも多い
 - 評価されたい、成功したいという欲求が強く、動機づけにもなっている
 - 意思決定と結果にスピードを求める
 - 改善意識が高く、物事に集中して取り組むものの、細かな指示や曖昧な説明を嫌う傾向がある
 - 責任感と自信があり、プレッシャーを克服する精神力を持つ



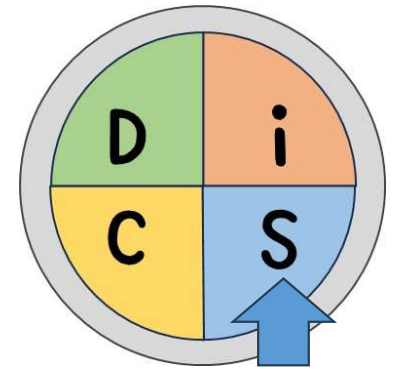
DiSCのタイプ説明

- i (influence) : 感化型の特徴
 - 「influence」はもともと「影響・感化・勢力」などの意味を持っており、近年よく用いられるインフルエンサーの語源にもなっています。
 - 感化型の人、楽観的であり、社交的でムードメーカー的な役割を果たすことが特徴的です。
- iタイプの特徴や傾向
 - 朗らかで社交的であり、積極的に人と触れ合う傾向を持つ
 - 発想や感情表現が豊かで、物事をポジティブに捉える
 - 楽観的で熱意にあふれており、人を励ましたり楽しませることを好む
 - 難しいことでも安易に仕事を引き受けたり、仕事の緻密さに欠けたりする側面がある
 - 正確で緻密な作業や単純作業はあまり好まず、新しいアイデアやトレンドを好む



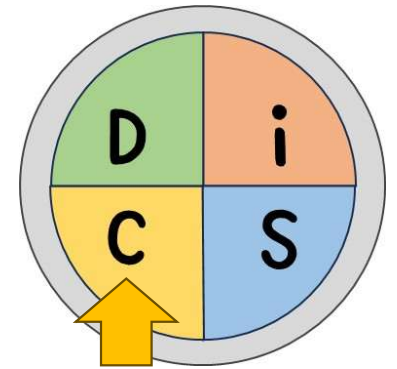
DiSCのタイプ説明

- S (Steadiness) : 安定型の特徴
 - 「安定型」の人は、周囲への配慮や思いやり、協調性の高い点が特徴的です
 - また、与えられた仕事を忠実に遂行する実直性も持ち合わせています
 - 他のタイプと比べると目立つ特徴は少ないものの、素直に指示に順応する能力に優れています
- Sタイプの特徴や傾向
 - 地道に仕事をこなす粘り強さ、忠実に遂行する実直さを持つ
 - 思いやりがあり、協力的である
 - 聞き上手である
 - 予測可能な範囲を好み、変化は好まないため、安定した環境のほうが力を発揮する
 - 一貫性を持ち、慣れ親しんだやり方や間違いのないやり方で物事に対処する



DiSCのタイプ説明

- C (Conscientiousness) : 慎重型の特徴
 - 「慎重型」の人は、緻密さや正確さがあります
 - 論理的・合理的な思考を好み、時間をかけて物事を組み立てる傾向が特徴的です
 - 一方、瞬発的な物事やあいまいな事象への対応には向いていない傾向があります
- Cタイプの特徴や傾向
 - 細部を詰める緻密さを持ち、何度も確認する特徴を持つ
 - データや資料を参照し、正確で実地的な仕事をする
 - 一方の意見を鵜呑みにすることはせず、様々な意見を聴き検討した上で結論を出す
 - 論理的に納得できないと、行動に移せない側面があり、質問攻めにする面もある
 - 自分の出した結論ややり方を批判すると、殻に閉じこもってしまう面もある



タイプ別 相手への接し方



- Dタイプ（主導型）の人への適切な接し方

- 結論重視で、周りとの協調するコミュニケーションには、あまり関心がない傾向があります
- 会話をする際は、過程よりも結論から話すようにして、細かい話は出さず、相手に任せるようにしましょう
- 細かい指示やルールを苦手とする傾向があるため、やる気を削がないようにすることが大切です

- iタイプ（感化型）の人への適切な接し方

- 周りからの評価を大切にするため、仕事の進め方や本人の気配りなどを含めて、認めることを意識するといいいでしょう
- 人が見ているところでやり込めたり、業務的な話だけをする、など個人に関心を寄せない接し方はよくありません
- 仕事中は適度な雑談をとり入れるなど、“相手に興味関心がある”というメッセージを伝えるようにしましょう

タイプ別 相手への接し方



- Sタイプ（安定型）の人への適切な接し方
 - 相手の不安に寄り添うコミュニケーションを求めます
 - 抽象的に指示を出すと心理的なプレッシャーを与えるため、具体的に伝えましょう
 - “わからないことがあったら、いつでも聞いてほしい”と、安心感を与える接し方を大切にしてください
- Cタイプ（慎重型）の人への適切な接し方
 - 感情に訴えるのではなく、相手が納得できる論理的な説明を大切にしましょう
 - 相手が納得していない場合は、質問に対して丁寧に答える姿勢も必要です
 - 褒めるときや指摘するときも、データや根拠をもとに説明すると意思疎通を図りやすくなります

その他 いろいろ

- 有名人で想定してみよう
 - 戦国武将：織田信長、豊臣秀吉、徳川家康、明智光秀
 - SMAP：木村拓哉、稲垣吾郎、草彅剛、香取慎吾、中居正広
- 正確に測る場合、15パターンまで判定可能
 - 有料版では、より詳細な分析を行ってくれる
- 行動タイプは変わる
 - とりまく環境で、行動タイプは変化する（一生固定ではない）
 - “リーダーを任されるとD”、“介護の職に就くとS”が強くなる 等

その他のタイプ診断

- ほかにいくつかのタイプ診断方法があるので、興味があれば調べてみてください
 - ソーシャルスタイル
 - 主に「コミュニケーションの取り方・傾向」に焦点を当てている
 - 4つに分類
 - キャリア・アンカー
 - 自らのキャリアを選択する際に、最も大切な（どうしても犠牲にしたくない）価値観や欲求を理解
 - 8つに分類
 - ビッグファイブ
 - 人の性格が五つの因子の組み合わせで決まることを説明する学説

参考資料

- DiSC理論とは？ 分析方法とタイプ別の適切な褒め方・叱り方
 - https://www.mdsol.co.jp/column/column_122_1927.html
- DISC性格診断による12の性格タイプと適職ガイド
 - <https://jp.indeed.com/career-advice/career-development/disc-personality-types>
- DiSC理論とは？ DiSC理論の4つの型と応用できる場面
 - <https://go.chatwork.com/ja/column/efficient/efficient-337.html>